

2026年(令和8年) 火災が発生しやすい3月 火の取り扱いにご注意を!

壬生川地区人口 1月末現在
(前月比)

男性 2,187人(+1)
女性 2,338人(-2)
(合計) 4,525人(-1)
世帯数 2,241戸(+5)

壬生川公民館だより

3月

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



新春恒例の伝統行事「とうどうさん」を、今年も各地区で開催、燃え盛る炎を囲みながら、今年1年の無病息災などを、地域の皆さんで祈りました。



1/4 喜多台



1/18 喜多台



1/11 宇賀神社

次世代に継承し、地域の絆をさらに深めたいですね。



1/18 宇賀神社



1/12 茨の木



1/18 茨の木

地域のかで高める『防災力』

1月18日(日)、茨の木地区自主防災会が、格納庫の消防ホースを使用した本格的な放水訓練を実施しました。



消火栓の使用方法について、指示に従い、子どもたちも真剣に取り組んでいました。初めての訓練で、水量が少なく、思ったような放水とはならなかったものの、地域の未来を担う子どもたちにも良い体験となりました。

【3月のごみ収集日】 当日の朝8時までに 決められた場所へ

◆古紙(新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ)..... 4日(第1水曜日)

米袋は、50cm以下に切り、燃えるごみの日にお出してください。

◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ... 11日(第2水曜日)

3月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	日	休館日
4	水	古紙 収集日
7	土	休館日
8	日	休館日
10	火	人権相談所 13:00~17:00
11	水	ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶等収集日
13	金	「カラダを整える春の薬膳講座」 10:30~
14	土	休館日
15	日	休館日
18	水	壬生川カフェ(高齢者カフェ) 10:30~
20	金	休館日・春分の日
21	土	休館日
22	日	休館日
28	土	休館日
29	日	休館日

「人権相談所」を開設します!

差別やいじめ、体罰、家庭および近隣関係等
人権問題で悩み事や、心配事がありましたら、ご
相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

日 時 : 3月10日(火) 13:00~17:00

会 場 : 壬生川公民館 学習室3

相談員 : 人権擁護委員

令和8年度

壬生川小学校・地域合同運動会募金のお願い

学校と地域の連携・協力や住民相互の交流・
親睦を深め持続可能な地域コミュニティの構築
を目的として、「令和8年度 壬生川小学校・地
域合同運動会」を、5月17日(日)(雨天時5月
24日(日))に開催します。

つきましては、本年も1戸当たり500円の
募金をお願いいたします。

なお、募金は、自治会等を通じてご依頼しま
すので、趣旨をご理解の上、ご協力いただきま
すようお願いいたします。

運動会実行委員会 委員長 一色 光政

今年度も、地域の皆様にご支援、ご協力をいただき
無事、公民館活動、公民館行事を終えることができま
したと、心より感謝申し上げます。

次年度も、皆様に楽しんでいただけるような活動、
行事を計画しておりますので、引き続きご参加、ご支
援のほどよろしくお願いいたします。

壬生川公民館

講座・教室等のご案内

カラダを整える春の薬膳講座

ー「食養生」でサビないカラダへー

季節の薬膳茶と薬膳菓子をご用意してい
ます。肩の力を抜いて、ほっこりとした時
間を、どうぞ一緒に...

体質チェックシートで『今の私』を知り、やさしい
薬膳のお話とともに、日々の暮らしの中で機嫌よく歳
を重ねていくための小さなコツに出会う時間です。

日 時 : 3月13日(金) 10時30分~

場 所 : 壬生川公民館 学習室3

講 師 : 中村 しい 氏

(椿 KIHALU | well-aging laboratory 主宰)

参加費 : 500円(季節の薬膳茶菓子付き)

持参物 : 筆記用具・眼鏡(必要な方)

定 員 : 12名程度 ※先着順

申込先 : 壬生川公民館 ☎64-2202

申込締切 : 3月6日(金)

『壬生川カフェ』にお越しください!

高齢者の方をはじめ地域の誰もが気軽に
立ち寄り、話し合いができる「つどいの会」
を開催しています。予約の必要はありません。
お友達と一緒に、お一人でもお気軽にご
参加ください。

日 時 : 3月18日(水) 10時30分~

場 所 : 壬生川公民館 1階 学習室3他

持参物 : 水分補給用の飲み物

内 容 : 脳トレプリント・レクリエーション等

問合せ : 西条市地域包括支援センター東予

TEL 66-5520

ゴキブリ団子作り教室

効果バツグンのホウ酸団子で、につつき
ゴキブリを退治しましょう。

日 時 : 4月1日(水) 9時30分~

場 所 : 壬生川公民館 調理室

材料代 : 実費(300円程度)

※当日集金いたします。

持参物 : ・ペットボトルキャップ(約30個)

・上記ペットボトルキャップが入る箱

申込先 : 壬生川公民館 ☎64-2202

申込締切 : 3月24日(火)

※ペットボトルキャップは、公民館でもご用意
できます。お申込み時、ご相談ください。

学習意欲向上! 「地域未来塾」



今年度も11月25日(木)から2月5日(木)まで、壬生川小学校で、5年生を対象に「壬生川地域未来塾」を、全10回開講しました。

教員OBの皆さんのご支援で、学ぶ楽しさを実感、学習意欲が高まりました。

福笑いで初笑い「壬生川カフェ」



1月21日(水)のカフェは、「福笑い」にチャレンジ。出来上がった顔に一同大爆笑! 大盛り上がりでした。

大合唱♪「オンラインコンサート」



1月21日(水)、オンラインコンサートを開催しました。

出演歌手の皆さんのほれほれする歌声に聴き入り、一緒に歌って、楽しい時間を過ごしました。

ラストスパート「放課後子ども教室」



1/17 茶道

今年度2回目の茶道教室。まずは床の間のしつらえから学びました。掛け軸や、お花の説明を受け、神妙な面持ちの子どもたち。お菓子とお茶をいただき、いつもの笑顔が戻りました。

大人気の「ボードゲーム」、みんなの先輩、壬生川小学校卒業生で、今は大学生のお姉さんと一緒にゲーム大会。子どもたちに寄り添い、優しくサポートしていただきました。



1/24 ゲーム



1/31 AGOであそぼ

いろいろな『形』の名前を英語で言ってみました。

周りにある、いろいろな形を見つけたり、描いたりしました。

今年度最後の「AGOであそぼ」英語を身近に感じ、楽しく学べました。

1時間半、休むことなく、体育館を走り回っている子どもたち、本当に元気です。

「いろんな学年の子と遊ぶのは楽しい!」のだそうです。

低学年の子にも心配りができ、身体も心も大きくなりました。



2/7 運動

肖像権等の個人情報に係わる承諾について

公民館の行事や学級(講座・子ども教室)の様子や、作品等を公民館職員が写真撮影します。

また、撮影した写真を「公民館だより」や、「ホームページ」に掲載する場合がありますので、ご了承ください。

なお、写真の撮影、掲載を望まない方は、公民館職員までお申し付けください。

ホームページへの掲載に関して、ホームページで使用する肖像権等の個人情報については、『公民館だよりのホームページ掲載要項』に従い、適切に取り扱います。

ホームページ掲載後に、やむを得ない事情で掲載を取りやめたい場合は、その旨を公民館までお申し出てください。

踊って、笑って、イキイキと!

笑顔あふれる、やさしいダンス

新規サークルご紹介

にゆうくるー [nyu:crew]

毎週 水曜日 19時30分~20時30分
壬生川公民館 2階大ホール

初心者大歓迎! 何歳からでも楽しめるズンバ(ZUMBA)サークルは世界の音楽に合わせて体を動かす、やさしいダンス体操です。足腰が不安な方は、イス参加OK! 見学・体験お気軽にどうぞ!

お問合せ: 壬生川公民館 Tel. 64-2202



~毎月10日は人権を考える日~

受け入れること

西条市立小松中学校 2年 畑中 希心

僕は難聴だ。この障がいで、悲しい出来事もたくさんあった。それでも今、みんなは難聴の僕を受け入れてくれている。

僕は、生まれつき音が聞こえない。生まれてすぐは乳を全然飲まず、死にかけたらしい。ようやく乳を飲むようになった後、僕は耳が聞こえないのだと親は医者から聞かされた。母はショックで、とても悲しかった。それでも、僕を幸せにしようと、一歳二か月の時に右耳、一歳六か月の時に左耳の手術をして、人工内耳というものを付けた。それで、音が聞こえるようになった。

とても不思議だった。なぜ、障がい者である僕を幸せにしようとしてくれるのか。でも、そのことを両親には聞けなかった。

そうして、僕は松山聾学校の幼稚部という難聴のための幼稚園に入学し、卒業後は地元の小学校に入学した。みんなと初めて出会った場所だ。

みんなは僕のことをとても不思議そうに見てきた。だけど、すぐに仲良くなった。けれど、友達と呼べるほど仲良しになれる人はいなかった。そして、何か月か過ぎると、一人、また一人と離れていき、僕はとうとう一人ぼっちになった。とても悲しかった。もっとみんなと話したい。けれど、話したら嫌われそうだという気持ちが強かった。だから、担任の先生と話したり、本を読んだりして過ごすことが多くなった。正直、寂しかった。ただ家では、オンラインゲームで楽しく過ごすことができた。僕の心の休けい所だった。

五年生になったある日、オンラインゲームのチャットで、「僕、実は難聴なんだ。」と思いついて言った。すると、「難聴は帰れ。」と心ない言葉を投げられた。その後も「障がい者は要らない。」「とっとと消えて!」など、残酷な言葉をいくつも投げられた。そして、ついには仲が良いと思っていた人からも悲しい言葉を投げられ、いじめられた。とても辛くて、悔しかった。大切な人に裏切られ、たまらなかった。障がい者として生まれたことを僕は憎んだ。

最悪の気持ちがしばらく続いた。でも、ネットでいじめられたことや難聴という障がいについて、みんなに知ってもらいたい、だまっちはいけないという気持ちの方が強くなっていった。それで勇気を出して、別のオンラインゲームで、再び「難聴だ。」と打ち明けた。すると、仲の良い人たちから、「どうして早く言ってくれなかったの。」となぐさめられた。こんな自分を受け入れてくれる人がいると思うとうれしかった。救われた思いがした。そして、もっと多くの人に難聴のことを知ってほしいと思うようになった。だから、小学校でも勇気を出してみんなと話そうにした。すると、そのうち友達と思える人ができ始めた。毎日の学校が楽しくなった。

僕は、小学校を卒業し、中学校に入学した。そして、他の小学校の生徒とも一緒になった。少年自然の家や体育大会などの行事で、心配事はいろいろとあった。でも、みんなのサポートがあり、楽しく過ごしたり練習したりできた。みんなは僕のことを受け入れてくれていると安心している。

けれど、まだ不安が心の底にある。また、いじめられるのではないかと心配が、心の中から消えない。僕はおそろおそろ友達に聞いてみた。

「なぜ、僕を大切にしてくれるの?」と。

すると、「君は友達だから。難聴だったとしても、それ以外は同じだから。」

と言ってくれた。その言葉で、今まで僕に関わってくれた家族や大人たちが、なぜ可愛がってくれたり、怒ってくれたりしたのか、疑問が全て解けた気がした。僕は、自分を健常者とは別の、違う存在のように感じていたが、家族や大人は、同じ子どもとして、対等に見て接してくれていたのだ。心の底から感謝し一人涙を流した。

僕は今、普通に生活を送っている。家族がいて、友達もいる。だけど、難聴という他の人とは少し違う生活を送っている。不便なところはあるが、それ以外は何も変わらない。

人はみんな、それぞれ人権を持っている。人権は、この世の中で、人らしく幸せに生きる権利だ。健常者の人たち、難聴者の人たち、他に障がいのある人たち、人権はみんなに平等に与えられている。それなのに、少しの違いを理由に、受け入れなかったり、いじめたりして奪ってはいけない。障がいがあっても同じ人間なのだ。それぞれの個性を受け入れて認め合うことで、みんなが幸せになれる。もし困っている人がいたら、こう言いたい。「みんな同じ人間だ。だから、胸を張って前を向こう。」

僕は、これからも明るく幸せに生きていきたい。

出典: 松山地方方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会主催「第44回全国中学生人権作文コンテスト」
愛媛県大会 最優秀賞(松山地方方法務局長賞) (松山地方方法務局ホームページ)

ひうち句会

(順不同)

うすらい 薄氷や壊す喜び登校児
こわ よい 喜び登校児
ひかりち 光散りばめころころ弾む初雀
よみぞめ 読初や東京神田神保町
べいじゆいわ 米寿祝ひぬ父も着しちやんちやんこ
おい くわおとみゆめ 老の鉄音冬芽しづかに動きだす
そうばい 早梅や真青の空に鶯の笛

稲井 卓機
石原 宏子
岡部 和代
近藤ヤス子
丸山 英子
矢野 悦子